



発寒ひかり
保育園だより

2024年
8月号

巻頭言

先日ニュースで、ロシアによる侵攻が続くウクライナで、女性兵士の数が倍増し、一万人以上が最前線で戦闘任務に就いていること（女性は動員の対象外ではありません）、そしてウクライナ国防省は昨年12月に女性の体にフィットするよう特別に設計された防弾チョッキを許可するなど、対応をすすめている旨を報道していました。

1948年ウクライナ生まれ、国立ベラルーシ大学卒業後、ジャーナリストになったスヴェトラナ・アレクシエーヴィチさんが、第二次世界大戦で実際に従軍したソ連の女性たち500人以上から聞き取りをおこない、まとめた「戦争は女の顔をしていない」という本がある事を思い出し、図書館で借りて読んでみる事にしました。500ページあまりにおよぶ厚い本には、とても辛い内容が多く、正直、読み進めるのに苦勞をしました。戦争が始まるまでは、普通の一般市民であった人たちが、戦争に巻き込まれ、どのような経験をし、どのように感じたのか、それぞれの体験を話し言葉のまままで記載されています。痛みや辛さがヒリヒリと身に沁みました。

同じような事が、現在も繰り返されている：・本当に悲しい事です。一刻も早く、現在、世界中で行われている戦闘が終結することを願います。

終戦記念日のある8月、親子で戦争の悲惨さと平和の大切さを一緒に考えてみませんか。

園長 阿部 尚子